

2019年度 高校2年

教科	地理歴史科	科目	地理A	単位数	2単位
コース	未来創造コース		クラス	1～6組	
教科書	帝国書院「新地理A」 二宮書店「基本地図帳」				
副教材	帝国書院「新詳地理資料 COMPLETE」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 1節 地球上の位置と国家 2章 人間生活を取り巻く環境 1節 生活に影響を与える環境条件 2節 人々の生活と地形		<ul style="list-style-type: none"> 地球儀と地図との違いや、緯度経度を学び、時差や季節が生じる仕組みについて理解する。 国家の領域や、国境についての知識を身につける。 プレートや地震について考察する。 さまざまな規模の地形について学び、成因や特徴を理解する。 地形図読図の基本を理解する。 		
	2章 人間生活を取り巻く環境 2節 人々の生活と地形 3節 人々の生活と気候		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな規模の地形について学び、成因や特徴を理解する。 気温・風・降水・海流・日照などに注目し、気候の成因を考察する。 		
2 学 期 中 間	2章 人間生活を取り巻く環境 3節 人々の生活と気候 第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図		<ul style="list-style-type: none"> ケッペンの気候区分にもとづいて世界の気候を学び、特徴を理解する。 地図の歴史と用途を理解する。 		
	第2部 身近な地域の課題 2章 日本の自然環境 第1部 身近な地域の課題 4章 地球的課題と私たち 1節 複雑にからみ合う地球的課題 2節 世界の環境問題		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地球的課題について地理的な視点から考察する。 日本における自然災害について学び、防災について考察する。 		
学 年 末	4章 地球的課題と私たち 3節 世界の資源エネルギー問題 4節 世界の人口問題 5節 世界の食料問題 6節 世界の都市居住問題		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地球的課題について地理的な視点から考察する。 世界の人口問題を原因や地域の特徴と共に学び、先進国と途上国で比較する。 		
	備考				
<p>大学入試では、用語や地名の知識も必要だが、地図や図表から地理的な特徴を見極めて判断する力が特に重要となる。「覚える」のではなく「考える」ことを意識して授業に臨む。</p>					

2019年度 高校2年

教科	地理歴史科	科目	地理A	単位数	2単位
コース	Will-Frontier コース		クラス	7～9組	
教科書	帝国書院「新地理A」 二宮書店「基本地図帳」				
副教材	帝国書院「新詳地理資料 COMPLETE」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第1部 世界の諸地域の姿と地球的課題 1章 地球儀や地図からとらえる現代社会 1節 地球上の位置と国家 2章 人間生活を取り巻く環境 1節 生活に影響を与える環境条件 2節 人々の生活と地形		<ul style="list-style-type: none"> 地球儀と地図との違いや、緯度経度を学び、時差や季節が生じる仕組みや生活への影響について理解する。 国家の領域や、国境についての知識を身につける。 プレートや地震について考察する。 さまざまな規模の地形について学び、成因や特徴を理解する。 地形図が読図できるようになる。 		
	2章 人間生活を取り巻く環境 2節 人々の生活と地形 3節 人々の生活と気候		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな規模の地形について学び、成因や特徴を理解する。また地形と生活の関係について考察する。 気温・風・降水・海流・日照などに注目し、気候の成因を考察する。 		
1 学 期 期 末	2章 人間生活を取り巻く環境 2節 人々の生活と地形 3節 人々の生活と気候		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな規模の地形について学び、成因や特徴を理解する。また地形と生活の関係について考察する。 気温・風・降水・海流・日照などに注目し、気候の成因を考察する。 		
	2章 人間生活を取り巻く環境 3節 人々の生活と気候 第2部 身近な地域の課題 1章 身近にあるさまざまな地図		<ul style="list-style-type: none"> ケッペンの気候区分にもとづいて世界の気候を学び、特徴を理解する。また気候と生活の関係について考察する。 地図の歴史と用途を理解する。 		
2 学 期 中 間	第2部 身近な地域の課題 2章 日本の自然環境 第1部 身近な地域の課題 4章 地球的課題と私たち 1節 複雑にからみ合う地球的課題 2節 世界の環境問題		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地球的課題について地理的な視点から考察する。 日本における自然災害について学び、防災について考察する。 日本が災害の多い国であることを理解し、防災への意識を高める。 		
	4章 地球的課題と私たち 3節 世界の資源エネルギー問題 4節 世界の人口問題 5節 世界の食料問題 6節 世界の都市居住問題		<ul style="list-style-type: none"> さまざまな地球的課題について地理的な視点から考察する。 世界の人口問題を原因や地域の特徴と共に学び、先進国と途上国でどのような違いがあるかを考察し理解する。 		
学 年 末					
備考					
大学入試では、用語や地名の知識も必要だが、地図や図表から地理的な特徴を見極めて判断する力が特に重要となる。「覚える」のではなく「考える」ことを意識して授業に臨む。					

2019年度 高校2年

教科	地歴公民科	科目	世界史B	単位数	4単位
コース	未来創造コース		クラス	2・3組	
教科書	山川出版社 詳説世界史B				
副教材	第一学習社「グローバルワイド世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」 山川出版社「一問一答問題集」 啓隆社「新世界史研究ノート標準編」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	序章 先史の世界 第1章 オリエンと地中海世界 1. 古代オリエンと世界 2. ギリシア世界とローマ世界		<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンと文明の盛衰, エーグ文明・ギリシア文明を理解する。 ・キリスト教とローマ文明を理解する。 		
1 学 期 期 末	第2章 アジア・アメリカの古代文明 1. インド・東南アジアの古典文明 2. 中国の古典文明・南北アメリカ文明 第3章 内陸・東アジア世界の形成 1. 北方民族と東アジア文化圏の形成		<ul style="list-style-type: none"> ・インド以東の古代文明を理解する。 ・東南アジアはインドと中国の影響を受けたことを理解する。 ・中国の歴史を理解する。 		
2 学 期 中 間	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1. イスラームの形成と発展 2. インドなどのイスラーム化と文化 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1. 西・東ヨーロッパの成立 2. 西欧中世世界の変容と文化		<ul style="list-style-type: none"> ・厳格な一神教であるイスラームを理解する。 ・様々な民族がイスラームと融合することを理解する。 ・中世ヨーロッパ世界と文明の成立を理解する。 ・西ヨーロッパと東ヨーロッパの違いを理解する。 		
2 学 期 期 末	第6章 内陸・東アジア世界の展開 1. 東アジアの自立化とモンゴル 第7章 アジア諸地域の繁栄 1. 明・清の動向 2. トルコ・イラン・インドなどの展開 第8章 近世ヨーロッパの形成 1. ルネサンスと宗教改革と主権国家体制		<ul style="list-style-type: none"> ・史上最大のモンゴル帝国の誕生とイスラームやヨーロッパとの関連を理解する。 ・明・清の歴史を理解する。 ・ヨーロッパの中世世界が崩壊し、主権国家体制の誕生を理解する。 		
学 年 末	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1. 重商主義とヨーロッパの海外進出 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカの成立 1. 産業革命とアメリカ独立革命 2. フランス革命とナポレオン 第11章 欧米における近代国民国家 1. ウィーン体制の成立とその後 2. 19世紀欧米の文化		<ul style="list-style-type: none"> ・重商主義のもとでヨーロッパの進出を理解する。 ・三つの市民革命と産業革命を理解する。 ・ナポレオン戦争から民族意識の芽生えを理解する。 ・復古主義的なウィーン体制の特徴と各国における崩壊を理解する。 ・ドイツ・イタリアの統一国家の誕生とアメリカの成長を理解する。 		
備考					
授業中の小テストで知識の定着を図り、授業前後の復習を促し理解を深めさせる。また流れ図で歴史の因果性・連続性を把握させる。					

2019年度 高校2年

教科	地歴公民科	科目	世界史B	単位数	4単位
コース	Will-Frontier コース		クラス	7・9組	
教科書	山川出版社 詳説世界史B				
副教材	第一学習社「グローバルワイド世界史図表」 山川出版社「世界史B用語集」 山川出版社「一問一答問題集」 啓隆社「新世界史研究ノート標準編」				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	序章 先史の世界 第1章 オリエンと地中海世界 1. 古代オリエンと世界 2. ギリシア世界とローマ世界		<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンと文明の盛衰, エーゲ文明・ギリシア文明を理解する。 ・キリスト教とローマ文明を理解する。 ・キリスト教とローマ帝国がヨーロッパの源流となったことを理解する。 		
1 学 期 期 末	第2章 アジア・アメリカの古代文明 1. インド・東南アジアの古典文明 2. 中国の古典文明・南北アメリカ文明 第3章 内陸・東アジア世界の形成 1. 北方民族と東アジア文化圏の形成		<ul style="list-style-type: none"> ・インド以東の古代文明を理解する。 ・東南アジアはインドと中国の影響を受けたことを理解する。 ・中国では皇帝支配の政治体制が誕生し, 20世紀まで続いたことを理解する。 		
2 学 期 中 間	第4章 イスラーム世界の形成と発展 1. イスラームの形成と発展 2. インドなどのイスラーム化と文化 第5章 ヨーロッパ世界の形成と発展 1. 西・東ヨーロッパの成立 2. 西欧中世世界の変容と文化		<ul style="list-style-type: none"> ・厳格な一神教であるイスラームを理解する。 ・様々な民族がイスラームと融合することを理解する。 ・中世ヨーロッパ世界と文明の成立を理解する。 ・西ヨーロッパと東ヨーロッパの違いを理解する。 ・各地域の歴史的意義を理解し, 現代社会との関連を理解する。 		
2 学 期 期 末	第6章 内陸・東アジア世界の展開 1. 東アジアの自立化とモンゴル 第7章 アジア諸地域の繁栄 1. 明・清の動向 2. トルコ・イラン・インドなどの展開 第8章 近世ヨーロッパの形成 1. ルネサンスと宗教改革と主権国家体制		<ul style="list-style-type: none"> ・史上最大のモンゴル帝国の誕生とイスラームやヨーロッパとの関連を理解する。 ・明・清の歴史を理解する。 ・ヨーロッパの中世世界が崩壊した後の西欧キリスト教世界の動揺を把握し, 主権国家体制の誕生を理解する。 ・西欧国家の経済成長から世界とヨーロッパの関係を把握し, 帝国主義の萌芽を理解する。 		
学 年 末	第9章 近世ヨーロッパ世界の展開 1. 重商主義とヨーロッパの海外進出 第10章 近代ヨーロッパ・アメリカの成立 1. 産業革命とアメリカ独立革命 2. フランス革命とナポレオン 第11章 欧米における近代国民国家 1. ウィーン体制の成立とその後 2. 19世紀欧米の文化		<ul style="list-style-type: none"> ・重商主義のもとでヨーロッパの海外進出を理解する。 ・三つの市民革命と産業革命を理解する。 ・ナポレオン戦争から民族意識の芽生えを理解する。 ・復古主義的なウィーン体制の特徴と各国における崩壊を理解する。 ・西欧と東欧の経済的・社会的違いを理解する。 ・アメリカの成長とその後の海洋進出へとつながる過程を理解する。 		
備考					
授業中の小テストで知識の定着を図り, 授業前後の復習を促し理解を深めさせる。また流れ図で歴史の因果性・連続性を把握させ, 論述問題にも対応できる力を身に付けさせる。					

2019年度 高校2年

教科	地理歴史科	科目	日本史B	単位数	4単位
コース	未来創造コース		クラス	1～3組	
教科書	山川出版社「詳説日本史B」				
副教材	第一学習社「最新 日本史図表 新版」 山川出版社「改訂版 日本史B用語集」 山川出版社「一問一答問題集」 啓隆社「日本史B要点ノート（応用編）」 啓隆社「日本史B研究ノート」（応用編）				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学期 中間	第1章 日本文化のあけぼの 1.文化の始まり 2.農耕社会の成立 3.古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1.飛鳥の朝廷 2.律令国家への道		<ul style="list-style-type: none"> ・人類文化の発生から稲作の伝播を経て、地域の首長が出現し、ヤマト政権による統一国家形成の過程を東アジア世界との関係を踏まえて理解する。 ・推古朝の政権運営や飛鳥文化の形成について、大陸との交流を踏まえて理解する。そして、7世紀後半の中央集権国家の形成過程についても理解する。 		
1 学期 期末	3.平城京の時代 4.天平文化 5.平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1.摂関政治 2.国風文化 3.地方政治の展開と武士		<ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代から平安前期にかけての古代律令国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容や地方の反乱を踏まえて、律令体制の変質を理解する。 ・天平文化から国風文化について、政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目しつつ理解する。 		
2 学期 中間	第4章 中世社会の成立 1.院政と平氏の台頭 2.鎌倉幕府の成立 3.武士の社会 4.蒙古襲来と幕府の衰退 5.鎌倉文化 第5章 武家社会の成長 1.室町幕府の成立 2.幕府の衰退と庶民の台頭 3.室町文化 4.戦国大名の登場		<ul style="list-style-type: none"> ・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・初の全国的な武家政権誕生の過程と支配機構、政治内容などを理解する。 ・蒙古襲来後の鎌倉幕府の動揺から、南北朝の動乱、室町幕府の成立と安定について、庶民の活動が社会の変革の原動力となっていたことも含めて、理解する。 		
2 学期 期末	第6章 幕藩体制の確立 1.織豊政権 2.桃山文化 3.幕藩体制の成立 4.幕藩社会の構造		<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ世界との接触が、天下統一の過程と織豊政権へ与えた影響について理解する。 ・江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を理解し、外交方針の大きな転換となる鎖国政策について、内容とその影響、歴史的意義について理解する。 		
学 年 末	第7章 幕藩体制の展開 1.幕政の安定 2.経済の発展 3.元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1.幕政の改革 2.宝暦・天明期の文化 3.幕府の衰退と近代への道 4.化政文化		<ul style="list-style-type: none"> ・17世紀後半から18世紀にかけての江戸幕府の安定期における、政治、経済の内容とその改革について理解する。 ・経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 		
備考					
小テストを実施して、授業内容の定着を図る。					

2019年度 高校2年

教科	地理歴史科	科目	日本史B	単位数	4単位
コース	Will-Frontier コース		クラス	7・9組	
教科書	山川出版社「詳説日本史B」				
副教材	第一学習社「最新 日本史図表 新版」 山川出版社「改訂版 日本史B用語集」 山川出版社「一問一答問題集」 啓隆社「日本史B要点ノート（応用編）」 啓隆社「日本史B研究ノート」（応用編）				
期間	授業内容		学習到達目標		
1 学 期 中 間	第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立 3. 古墳とヤマト政権 第2章 律令国家の形成 1. 飛鳥の朝廷 2. 律令国家への道		<ul style="list-style-type: none"> 人類文化の発生から稲作の伝播を経て、地域の首長が出現し、ヤマト政権による統一国家形成の過程を史料読解と考察を通じて、理解する。 推古朝から律令国家の誕生まで、中央集権国家の形成過程について理解する。 		
1 学 期 期 末	3. 平城京の時代 4. 天平文化 5. 平安王朝の形成 第3章 貴族政治と国風文化 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士		<ul style="list-style-type: none"> 奈良時代から平安前期にかけての古代律令国家の推移について、政治改革、地方統治の変容や地方の反乱を踏まえながら、律令体制の変質を理解する。 天平文化から国風文化について、政治性と国際性、国家仏教の展開など資料を比較しながら理解する。 		
2 学 期 中 間	第4章 中世社会の成立 1. 院政と平氏の台頭 2. 鎌倉幕府の成立 3. 武士の社会 4. 蒙古襲来と幕府の衰退 5. 鎌倉文化 第5章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭 3. 室町文化 4. 戦国大名の登場		<ul style="list-style-type: none"> 院政期前後の土地支配形態の変遷を当時の史料や絵地図などを分析・考察することで、当時の政治・経済・社会・文化の理解につなげる。 初の全国的な武家政権誕生の過程と支配機構、政治内容などを貴族政権との相違点から考察する。 蒙古襲来後の鎌倉幕府の動揺から、南北朝の動乱、室町幕府の成立と安定について、庶民の活動が社会の変革の原動力となっていたことに気づく。 		
2 学 期 期 末	第6章 幕藩体制の確立 1. 織豊政権 2. 桃山文化 3. 幕藩体制の成立 4. 幕藩社会の構造		<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界との接触が、天下統一の過程と織豊政権へ与えた影響について理解する。 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程、鎖国政策へ至るまでについて、丁寧に史料読解と考察を行い、歴史的意義について理解する。 		
学 年 末	第7章 幕藩体制の展開 1. 幕政の安定 2. 経済の発展 3. 元禄文化 第8章 幕藩体制の動揺 1. 幕政の改革 2. 宝暦・天明期の文化 3. 幕府の衰退と近代への道 4. 化政文化		<ul style="list-style-type: none"> 17世紀後半から18世紀にかけての江戸幕府の安定期における、政治、経済の内容とその改革について、為政者別に比較しながら理解する。 経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。 		
備考					
小テストを実施して、各時代の内容理解の定着を図る。また、史料や歴史的資料の考察を通じて歴史を学ぶ。					